



担当教員 teacher in charge

北見工業大学 後期提供科目

地球環境科学

授業目的

地球システムを構成する大気圏に焦点を置き、その基本構造と人類との関わりを解説する。また、1960年代以降の公害問題、1980年代以降のオゾン層破壊問題、地球温暖化問題、近年のエネルギー問題について詳しく解説し、その対策を共に考える。

授業概要

基本：授業計画参照してください。
 補足：授業内容はマインドマップを使って説明し、簡単な演示実験も行います。授業レポートはオンラインで提出できるように準備します。

成績評価

各達成目標に対応した試験ならびに課題レポートにより達成度を評価し、総得点の60%以上をとった者を合格とする。

白川 龍生

北見工業大学 工学部社会環境工学科
 准教授

到達目標

1. 地球環境を構成する大気圏、海洋圏に関する基礎知識を理解する。
2. 大気と水循環を理解する。
3. 気候と気候変動、人類と地球環境、大気汚染、酸性雨と環境問題を理解する。
4. オゾン層破壊、地球温暖化、海洋と水の世界環境問題を理解する。
5. 災害と地球環境、公害問題、エネルギー問題と地球環境を理解する。

授業計画

授業キーワード
 地球環境問題、地球温暖化、オゾン層破壊、公害問題、エネルギー問題

授業トピックス

- STEP 1 カリキュラムにおける地球環境科学の位置づけ (1週)
- STEP 2 地球環境の成り立ち、大気と水循環、生物系と地球環境 (3週)
- STEP 3 気候と気候変動、人類と地球環境、大気汚染、酸性雨と環境問題 (4週)
- STEP 4 オゾン層とオゾン破壊、地球温暖化、海洋と水の世界環境問題 (4週)
- STEP 5 砂漠化と森林破壊、災害と社会、エネルギー問題と地球環境、地球環境保全の取り組み (3週)